

P-D-1

玄米・黒大豆粉体食品が有効であった過敏性腸症候群の1例

A case report of irritable colon syndrome to which brown rice
and black soybean was effective

○林 浩孝¹⁾，大野 智²⁾，新井 隆成³⁾，上馬場和夫⁴⁾，鈴木 信孝²⁾

1) 金沢大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー， 2) 金沢大学臨床研究開発補完代替医療学，
3) 金沢大学医学部附属病院周生期医療専門医養成センター， 4) 富山県国際伝統医学センター

Irritable bowel syndrome (IBS) is a very common gastrointestinal disorder. The prevalence of IBS is about 10-15% of the general population. Treatment options include lifestyle modifications, drug therapy aimed at predominant symptoms and various forms of psychological treatments. Recently, we experienced a case of IRB with severe diarrhea to which brown rice and black soybean was effective .

【目的】

玄米・黒大豆を特殊製法で加熱・粉体化した食品（ブラック&ブラック 玄米・黒大豆香琲：株式会社シガリオ製）が，慢性下痢型の過敏性腸症候群に著効した例を経験したので報告する。

【症例報告】

症例は33歳男性，5年前から慢性下痢型の過敏性腸症候群で下痢を繰り返していたが，1年前から下痢が増悪し，1時間に1回の下痢をみることもあった（平均1日7回の下痢）。日常生活は頑固な下痢のために，著しく制限されていた。治療法としては，止痢剤や各種整腸剤（ビオフェルミンなど）を投与されていたが無効であり，脱水症状には輸液を受けることもあった。平成19年4月27日から，当該食品を1日4包（3g/1包）朝1回服用したところ，服用当日から下痢は改善し，正常に近い軟便を1日2回みる程度に回復した。また，排便時の下腹部痛も完全消失した。7月23日に大腸内視鏡検査を施行し，器質的疾患はないことを確認した。さらに，これらの改善作用が当該食品によるものか確かめるために，まったく飲まない日を2日間，服用量を1日2包に減量した日を3日間設けたが，いずれの日も強度な下痢の再発をみた。また，服用方法を朝2包，夕2包に変更すると，効果が著しく減弱することも判明した。

【結論】

ブラック&ブラックは，難治性の過敏性腸症候群の有用な補完代替医学治療法になり得ると考えられた。今後は，症例数をさらに増やして検討したいと考えている。